

## 「埼玉県営水道長期ビジョン」に対する御意見と県企業局の考え方

埼玉県企業局では、厚生労働省の新水道ビジョンを踏まえ、長期的な事業運営方針として「埼玉県営水道長期ビジョン」（平成14年4月策定、平成24年3月改定）を策定しています。

水道の事業環境は、人口減少等に伴う水需要の減少や、水質基準の強化・拡充、水道施設の老朽化などにより厳しさを増しており、水道法改正等により事業基盤の強化が改めて求められています。企業局では、県営水道を取り巻く環境の変化や課題に対応し、県営水道の運営基盤を強化し事業を維持・継続していくため、「埼玉県営水道長期ビジョン」の見直しを行いました。

見直しにあたって、令和4年6月27日（月）～令和4年7月26日（火）の間、県民コメント制度に基づき、「埼玉県営水道長期ビジョン（見直し素案）」について県民の皆様から御意見を募集したところ、4件の御意見・御提案をお寄せいただきました。

寄せられた御意見・御提案及びそれに対する県企業局の考え方を公表します。

### 1 意見募集期間

令和4年6月27日（月）～令和4年7月26日（火）

### 2 意見の提出者数及び意見件数

4件（個人：1名、法人：1団体）

（内訳）

区分	人数、団体数	意見件数
郵送	1	1
FAX	0	0
電子メール	1	3
その他	0	0
合計	2	4

### 3 意見の反映状況

区分		意見件数
A	意見を反映し、案を修正したもの	4
B	すでに案で対応済みのもの	
C	案の修正はしないが、実施段階で参考とするもの	
D	意見を反映できなかったもの	
E	その他	
合計		4

- 4 策定した長期ビジョン及び意見募集結果の資料の入手方法  
埼玉県のホームページから入手できます。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/c1304/90d00-01yousui/90d00-04visionminashi.html>

また、次の窓口で閲覧を行っています。

・埼玉県企業局水道企画課（職員会館 4階）

・埼玉県県政情報センター（第2庁舎 1階） Tel 048-830-2545

・埼玉県の各地域振興センター・事務所

南 部 Tel 048-256-1110 南 西 部 Tel 048-451-1110

東 部 Tel 048-737-1110 県 央 Tel 048-777-1110

川 越 比 企 Tel 049-244-1110 西 部 Tel 04-2993-1110

利 根 Tel 048-555-1110 北 部 Tel 048-524-1110

秩 父 Tel 0494-24-1110 東松山事務所 Tel 0493-24-1110

本 庄 事 務 所 Tel 0495-24-1110

- 5 問い合わせ先

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 3-14-21

埼玉県企業局水道企画課 施設計画担当

TEL 048-830-7060（直通）

FAX 048-834-5071

E-mail a7050-07@pref.saitama.lg.jp

## 御意見に対する県企業局の考え方について

No.	頁	意見・提案	県企業局の対応・考え方	反映状況
1		<p>全体としてはよく出来ており、特に水道史の部分は地域史として小学校社会科の題材となり得るであろう。</p> <p>しかしながら随所に課題は列記されているものの、予算付けや優先順位の記載に乏しいため、実現性が感じられず弱い記載に見える、改善願う。</p> <p>それから、「長期ビジョン」の満了まではいかなる事由あっても県営体制（現行通り）を維持願う。民営化の文字が見当たらない以上は、そうすべきである。</p>	<p>埼玉県営水道長期ビジョンは埼玉県営水道事業の長期的な運営方針であり、ご指摘のとおり具体的な予算付け等について記載しておりません。事業を長期ビジョンに沿って進めていくためには、状況に応じた細かな対応が必要と考えているため、より具体的な事業及び財政計画については、経営5か年計画等において定めることとしています。いただいた御意見を踏まえ、「第6章 具体的な実現方策及び取組内容」にその旨を記載しました。</p> <p>後段の御意見に関しては、この長期ビジョンでは、現在の経営形態を維持することを前提としております。</p>	A

2	30	<p>【追記、修正提案】該当箇所 太赤字下線部分</p> <p>②エネルギー対策</p> <p>県営水道では、浄水処理や送水を行うために、多くの電力を消費しています。そのため、これまで、<u>ガス・コージェネレーションなどの省エネルギー型機器の導入や、効率的な運転のための設備の導入など省エネルギー対策を積極的に実施してきました。</u></p> <p>【理由】</p> <p>上記計画に賛同し、省エネルギー型機器をより分かり易く表現するために、大久保浄水場等にご採用いただいております「ガス・コージェネレーション」の文言を追記します。</p> <p>ガス・コージェネレーションは、需要サイドで電力と熱を有効利用することにより大幅な省エネルギー化の実現が可能となります。また負荷応答性に優れ電力、熱需要の変化にも柔軟に対応することが可能で、今後導入が加速される再生可能エネルギーは、天候等で出力が変動するため、その調整電源としても有効です。さらに、近年、大地震だけではなく、これまで経験したことのなかった威力・規模の台風や豪雨の襲来に伴う大規模な停電等、風水害に伴う様々な被害も想定されることから、系統電力停電時の影響緩和にも寄与する「自立化・多重化によるエネルギーの確保」は、重要な取組みであると認識しています。</p> <p>また昨今の電力市場価格の高騰を受け、ガス・コージェネレーションのような分散型電源を確保することは、安定的に電力を確保することにも繋がると考えます。</p>	<p>御意見をいただきましたとおり、大久保浄水場排水処理施設整備・運営事業（PFI事業）においてガス・コージェネレーションを採用しておりますが、省エネルギー対策としてこれまで最も効果が高かったものは送水ポンプ等の回転数制御化となっております。</p> <p>御意見を踏まえ、省エネルギー型機器を分かりやすく表現することとし、その例示としては最も効果の高かったポンプの回転数制御化を記載いたしました。</p>	A
---	----	--	---	---

3	31	<p>【追記、修正提案】該当箇所 太赤字下線部分 課題 温室効果ガス排出量削減目標の達成に向け、省エネルギー対策や再生エネルギー設備の導入をこれまで以上に推進し、環境負荷のさらなる低減に努めていく必要があります。</p> <p><u>また、昨今の電力需給のひっ迫による、社会の節電要請に応え、将来再生可能エネルギー普及に貢献するために、デマンドレスポンスの参加についても検討が必要です。</u></p> <p>【理由】 デマンドレスポンスは、再生可能エネルギー等の発電量に合わせて既存設備の電力需要を本来業務に影響を与えない範囲で大きく変化させて調整力を引き出し、再生可能エネルギーの特性を補いながら、安定した電力バランスを保つことができます。</p> <p>県営水道では、水の安定供給を維持しながら、貯水・排水ポンプ等の稼働時間をシフト調整し、電力のひっ迫が予想される時間帯にフレキシビリティを提供することで、デマンドレスポンスに参加できる可能性があると考えます。</p> <p>昨今の電力需給ひっ迫時の節電要請に応えるだけでなく、将来再生可能エネルギー普及促進にも貢献できると考えます。</p>	<p>県営浄水場では、排泥ポンプや返送ポンプ等の運転調整により、消費電力の平準化に取り組んでおり、御意見いただいた電力需給ひっ迫時の節電にも寄与しています。</p> <p>いただいた御意見を踏まえ、これらの取り組みを記載することとし、デマンドレスポンスへの参加については、今後の参考にさせていただきます。</p>	A
---	----	---	--	---

4	45	<p>【追記、修正提案】該当箇所 太赤字下線部分 今後の施策の方向性</p> <p>【持続】将来も事業を継続するための強固な運営基盤を構築します</p> <p>徹底したコスト抑制に努めるとともに、長期的な見通しに基づく料金の検討を行い、経営基盤の強化を図ります。加えて、省エネルギー機器の導入拡大や再生可能エネルギーの利用促進、<b>CO2排出量の少ない都市ガスへの燃料転換等を通じ</b>、事業の環境負荷の低減を図ります。</p> <p>【理由】</p> <p>省エネルギー機器の導入拡大や再生可能エネルギーの利用促進による、事業の環境負荷の低減に賛同し、現在油を使用している施設の天然ガスへの燃料転換をご提案します。</p> <p>天然ガスを原料とする都市ガスは、灯油と比べ<b>CO2</b>に関して、<b>26%</b>削減効果があり、経済性も考慮した同レベルの効果を有する他の対策は稀有であると考えます。</p> <p>国の目標である<b>2030年</b>温室効果ガス排出量<b>46%</b>削減、<b>2050年</b>カーボンニュートラルに対する検討は必須であり、低・脱炭素化の社会的コストを抑制しエネルギーの安定供給にも寄与する都市ガスの選択は合理的であります。</p> <p>さらに都市ガスにおいては、「<b>2050年</b>カーボンニュートラル実現」に向けて、再生可能エネルギー由来の水素からメタネーションにより作り出された合成メタンを供給することで、都市ガス自体のカーボンニュートラル化も実現してまいります。</p>	<p>県営水道では、省エネルギー機器の導入拡大や再生可能エネルギーの利用促進以外にも、環境にやさしい電力調達等にも取り組んでおり、また今後もそういった<b>CO2</b>排出量削減につながる取組を行っていくこととしています。そのことが分かるよう「<b>5-3</b>今後の施策の方向性」の表現を見直しました。</p> <p>いただいた御意見については、事業の実施段階において参考にさせていただきます。</p>	A
---	----	--	--	---